

ハンドブック ワンポイント レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

2級審判員資格を先日取得した高校生です。

講習会の時、競技規則第15条（プレーヤーの心得）について、「マッチの開始から終了まで連続的にプレーしなければならない。」と説明を受けましたが、そのことについて質問します。

プレーヤーが「タイム」と言って勝手にしゃがみ込み、ほどけていない靴ひもをほどいて結び直したが、アンパイヤーは何もコールせず見過ごしているケースを見かけます。このような場合、第15条の連続的プレーに違反することにはならないのでしょうか。

Answer

故意にゲームを長びかせる行為には警告（イエローカード）を提示する。

とてもいい質問ですね。講習会の時に競技規則第15条（プレーヤーの心得）の説明で「警告に該当する時はイエローカードを提示する」と理解されたのに、実際のマッチを見て、プレーヤーが「タイム」と言って勝手にしゃがみこみ、解けてない靴ひもを解いて結びなおす行為をアンパイヤーが黙ってみているのは審判資格を取得されたあなたから我慢ならなかったようですね。ごもっともで、プレーヤーが靴ひもを結びなおす為にプレーを止めて「タイム」と言ってもアンパイヤーが「タイム」とコールしない場合は「タイム」は認められていません。ほどけていない靴ひもをほどいて結び直す行為を「タイム」と認めるか否かはアンパイヤーが判断することになりますが、この場合は、競技規則第15条第2号イ「故意にゲームを長びかせる行為をすること。」に該当し「タイム」を認める必要はありません。

したがって、アンパイヤーはプレーヤーがプレーを始めるのを黙って待つのではなく、「レッツプレー」のコールにより速やかにプレーの開始を促し、それでもプレーを開始しないときは連続的プレーに違反する遅延行為として警告（イエローカード）を提示しましょう。厳しいようですが、アンパイヤーとしては毅然とした態度で競技規則を正確かつ適切な判断で正しい審判をしましょう。



【関連規則】

・競技規則第15条（プレーヤーの心得）第2号 イ

・ジュニア審判マニュアル「競技規則について」

4. プレーヤーがよくわかっていなければならないこと（心得）(2) ③